

農業ふれあい公園だより

No. 22

2015
(平成 27 年)
MARCH

【岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館】 岩手県北上市飯豊 3-110 TEL 0197-68-3975



岩手県立農業ふれあい公園には、棚田をはじめ、桜の丘、せせらぎ、水車、ひょうたん池などがあります。17ha の広大な敷地では多種多様な植物に出会い、四季折々の草花を眺めながらの、ウォーキングやジョギングを楽しむ方々が訪れています。春には何種類もの桜が咲き乱れ、秋にも咲く「十月桜」もあります。散策路は、公園外周 1.7km で、ひょうたん池の近くには、無料のゲートボール場・グランドゴルフ場があります。



農業科学博物館は、岩手の農業の過去・現在・未来を楽しく体感できる施設です。展示室は 2 室に分かれています。農業れきし館では、昭和初期まで使われてきた農具の実物資料を展示しています。農業かがく館は実際にさわったり、クイズをしたりしながら体感できる展示になっています。また、収蔵室には貴重な資料約 4500 点が収蔵され、希望の方は見学することができます。



…農業科学博物館・ふれあい公園トピックス…

親子体験学習会 平成26年8月3日～11月2日 4回講座

自分で育てた「そば」は美味しかった！



農の生け花展 平成26年9月5～6日



「岳水流盆景」
及川昭一さん（北上市）

手軽に出来る豆腐づくり 平成26年9月28日



オリジナル松飾りで
お正月を迎えました
平成26年12月21日



一日子ども研究員 平成26年8月1日

ふれあい公園の棚田で田植え
平成26年6月4日



平成26年度企画展レポート

第60回 自給織物と道具

平成26年4月5日(土)～6月27日(金)

昭和の中期頃まで、生活や生業で使われる布類は、草木類や蚕の繊維を取り出し、それを織って植物染料で染色し自給していました。

寒い岩手では綿が栽培できず、市日などで古木綿ふるもめんを手に入れ、自給の衣料に混ぜて作業衣としました。

雫石町や盛岡市玉山地域では、模様や仕立て方に工夫がされ、独自の特徴ある作業衣が見られます。

現在は、飽衣の時代とさえ言われ、衣服や生活用具は豊富



な物の中から選び、購入できる時代となっています。企画展では、自給の時代に使われた、衣料、繊維を作り出す道具や織物の染色に用いられる植物染料などを紹介すると共に、古の技と物を大切に
する暮らしを紹介しました。

第61回「味噌・豆腐」作りと道具

平成26年7月6日(日)～9月28日(日)



昔から味噌さえあれば凶作の年でも何とか凌げるものだと言われていて、味噌だけは不足しないように造るよう心掛けていました。

動物性たんぱく質の摂取の少ない農山村においては、大豆の良質な植物性たんぱく質の価値は重要であり、「味噌煮・豆腐碾き」は家族総出の作業で農山村の暮らしに根差した仕事でした。

農作業の合間に、助け合いながら行っていた加工作業は、日常食と晴れ食の要として、現在の私たちの食生活につながっています。

企画展では、「味噌・豆腐」作りを通じて、先人の知恵と農村の相互扶助を考える場としました。

第62回 養蚕と自給の製糸用具 平成26年10月4日(土)～12月26日(金)

昔は、絹を生産する産業が経済的にとても重要で、明治維新以降の近代化や第二次大戦後の経済復興にも大きな貢献をしていました。県内でも大正8年には農家の42%が蚕を飼い、農家の経済面にも大事な位置を占めていました。

企画展では、養蚕の歴史と明治から昭和中期頃、農家が生業で蚕を育てて繭を取るための飼養法を学ぶと共に、自給の絹製品作りについて学習する場としました。



第63回 農村に生きる女たち ～戦後の混乱期に、生活改善を進めた女性たちに学ぶ～ 平成27年1月9日(金)～3月25日(水)



昭和20年代の農村は、国民の命を背負った使命感に燃え、食糧増産に励んだ時代でした。そうした中、女性たちが学習し、農業と暮らしを担うと共に、住みよい農村社会構築の役割を果たしてきました。「かまど改善」から始まり、便所や台所の改善、農繁期の共同炊事や作業着の改善等多様な生活改善が展開されました。



その活動の一端を紹介し、昭和の女性たちの足跡から現在の暮らしと未来を考える機会としました。



お知らせ

◆◆◆ 博物館ご利用案内 ◆◆◆

- 【開館時間】 9:00～16:30(入館は16時まで)
- 【休館日】 毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
- 【入館料】 小・中・高生は無料
個人 学生140円 / 一般300円
団体(20名以上) 学生70円 / 一般140円

農業科学博物館では、多目的ホールを無料で貸し出しています。作品展示や活動発表会にお使い下さい。希望される方は、農業科学博物館へご相談ください。

◆◆◆ 次回の企画展のテーマ ◆◆◆
「むかしの稲作(育苗)
～昭和30年の記録写真から～」